

平成17・18年度 文部科学省 伝え合う力を養う調査研究事業指定校
福山市教育支援事業(道徳・音楽)指定校



福山市立 旭小学校

平成19年 2月 7日(水)

福山市立旭小学校の紹介



福山の中心部

城下町の残る町並み
昔からの商店街と大型スーパー



学校教育目標

心やさしく、創造性豊かで、生きる力を持った旭っ子の育成

自ら学ぶ子

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する子

心やさしい子

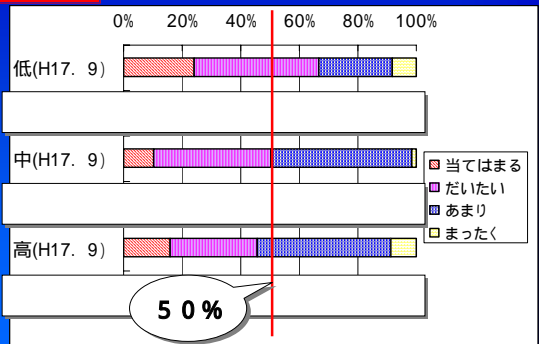
お互いのよさを認め合い、仲間と共に伸びる子

たくましい子

学んだことを生活に生かし、最後までやりぬく子

本校の現状分析

自分の思いや考えが発表できますか。



保護者アンケートから (H17.9)

友だちの発表をよく聞いている **85%**

わが子は自分の考えをはっきりと言うことができる。 **63%**

わが子は正しいことばづかいができています。 **61%**

研究主題

一人一人に生きる力をはぐくむ道徳教育

- かわり合い、認め合おうとする子どもの育成をめざして

研究仮説

道徳の時間に、他の人とのかわりの内容項目に重点を置き、さらに国語科で培った「読むこと」・「話すこと・聞くこと」の力を、道徳の時間に生かすことができるならば、お互いにかかわり合い、認め合おうとする子どもになるであろう。

今年度の重点目標

伝え合う力を養う

伝え合う力とは

お互いの考えや気持ちを言葉で適切に伝え、お互いに尊重し合い望ましい人間関係をつくるために必要な、人とかわかる力

道徳の時間の充実 国語科の授業改善 家庭・地域との連携

研究の概要

- 1, 道徳の時間の充実
- 2, 国語科の基礎基本の定着
- 3, 家庭・地域との連携

1, 道徳の時間の充実

年間計画の見直し

他の人とのかわりの内容項目の重点化

学期に一度、学校全体で取り組む道徳の授業

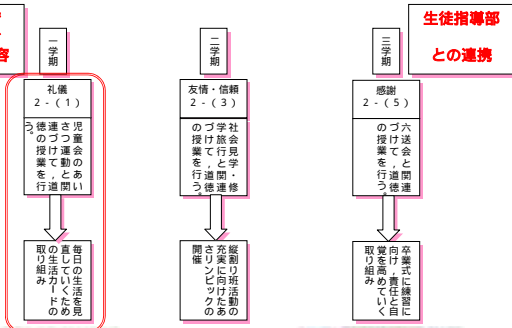
〇道徳の時間の充実（他の人とのかわりの重点化）

本年度の重点項目（内容項目2）一覧表

学期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
道徳の時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
国語科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
総合学習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33

注：表内には「礼儀 2・(1)」、「友情・信頼 2・(3)」、「感謝 2・(5)」などの重点項目が記載されている。また、「全校行事との関連」や「2の内容項目の重点化」などの注釈がある。

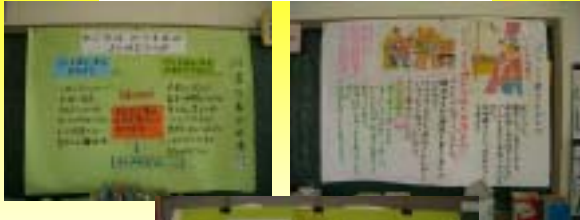
全学級で取り組む道徳の内容



生徒指導部との連携



板書を簡潔にまとめた道徳掲示

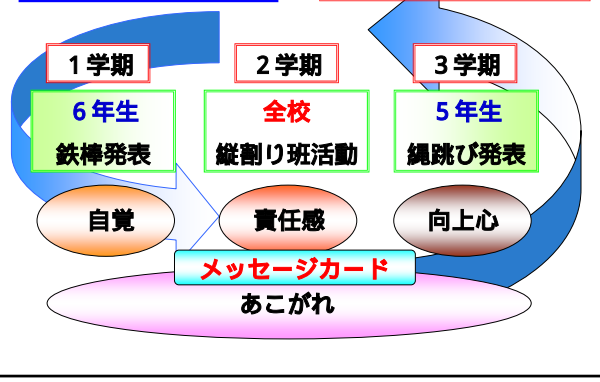


道徳
コーナーの
充実



事例) 総合単元的な道徳学習

キーワード
“かかわり合い認め合う”



6年 総合単元的な道徳学習の計画 1学期			
めざす子ども	中心項目	めらう	関連項目
みんなに役立つ取り組みを喜ぶにがんばる子	1・(2) 不換不屈	ねらい	4・(1) 役割と責任
<p>単元設定の理由 子どもたちの価値観の中に、自分にとって得な事柄に関しては積極的に関わり込んでいくが、大変な作業が伴うことや汚れること、自分の時間を制約される事柄について、できれば避けて通ろうとする傾向がある。また、無理をして何かを手に入れようとするのではなく、たやす(楽)を求めようとする傾向にもある。今回、子どもたちが頼だと思っている事柄の中にこそ、生きていく上で大切なことがあることに気づかせ、人のために行動する機運を作りたい。</p>			
教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	意識の流れ
6年生 鉄棒発表	<p>主題 奉仕活動 4月 4・(1) 役割と責任 資料名「奉仕委員会活動」 ねらい 自分の役割と責任を自覚し、主体的に果たそうという意欲を培う。</p>	<p>特活「委員会決め」「折り紙作り」 「折り紙作り」 相手に喜ばれるという目的で折り紙を作る。</p>	<p>責任のある仕事をししていくぞ。 リーダーとして、どのような行動をとればいいのかを分かた。自分ができるもう一つ難しい難目にチャレンジするぞ。一年生に喜ばれるように一生懸命に折り紙を作るぞ。一年生が喜んでくれるように。</p>
体育 「鉄棒発表に向けて」 めあてに向かって、チャレンジすることの大切さを知る。	<p>主題 自分をみつめて 5月 1・(2) 不換不屈 資料名「私の宝物」</p>	<p>さわやかタイム「読書」 「一年生に読めかせ」 読書伝説を作り上げよう。</p>	

教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	常時活動	意識の流れ
4年生 地域安全マップ発表	<p>主題 地域安全マップ作り ねらい 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>	<p>特別活動「地域安全マップ作り」 ねらい 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>	<p>常時活動「地域安全マップ作り」 ねらい 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>	<p>意識の流れ 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>

4年生による 旭地域安全マップの説明

総合単元名	最高学年に向けて (1月-3月)	めざす子ども	めらう	関連項目
5年生の三学期の構想図	1月-3月	旭小学校の伝統を受け継ぎ、みんなで協力してよい校風をつくらう子ども	1・(1) 役割と責任	4・(1) 役割・責任 2・(5) 感謝
<p>単元設定の理由 子どもたちは、後3か月で最高学年となる。児童会選挙や、六送会、卒業式の準備など最高学年を意欲した行動が増える。これまで子どもたちは、6年生の姿を見て大半は6年生の仕事だとなりきっていた。しかし、6年生にならなければならぬという気持ちを持っている。そこで、旭小学校のよき伝統を受け継ぎ、さらによりよい学校にしようとする意欲をもたせるために、この時期新しいリーダーとしての自覚を促し、意識して生活することが大切であると考え本単元を設定した。</p>				
教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	常時活動	意識の流れ
5年生 縄跳び発表	<p>主題 自分を見つけて 5月 1・(2) 不換不屈 資料名「私の宝物」</p>	<p>特別活動「縄跳び発表」 ねらい 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>	<p>常時活動「縄跳び発表」 ねらい 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>	<p>意識の流れ 自分たちの住む地域を調べ、安全マップを作成し、発表する。</p>

鉄棒発表を見た
子どもたちの
休憩時間の過ごし方



感動の
メッセージを
4年生から
5年生へ



事例) 総合単元の評価

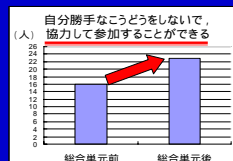
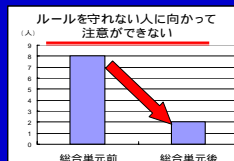
4年生一学期の
総合単元

1 子どもの意識の連続について

- ・音楽のリコーダー練習で感じた思いが、道徳の時間「何かがちがう」につながった。
- ・道徳の時間の配置も意識の連続が図られた。
- ・後半に「学級遊び」や「そうじ」を位置づけたことで、仲間と共に高まり合う実践の場となった。

2 めざす子ども像にどう迫れたか

仲間を思いやりともに伸びようとする子ども



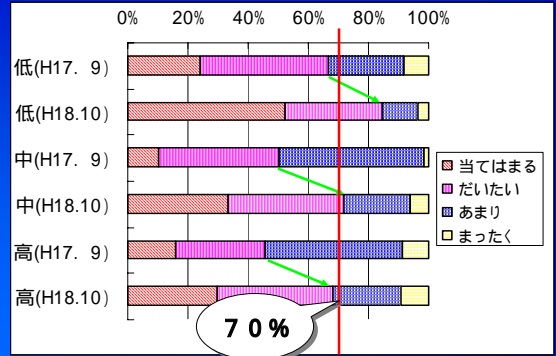
総合単元構想を
示した掲示物



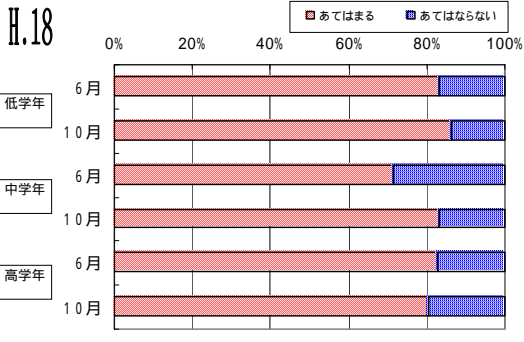
2, 国語科の基礎基本の定着

伝え合う力の意識調査の結果 と 成果・課題

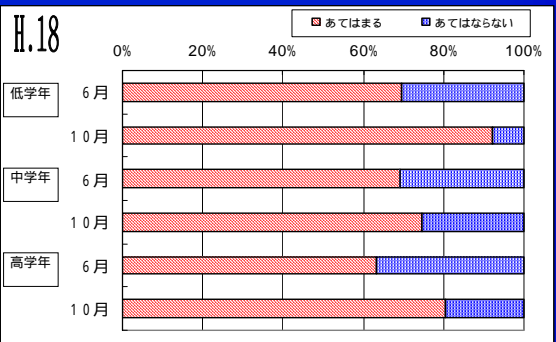
自分の思いや考えが発表できますか。



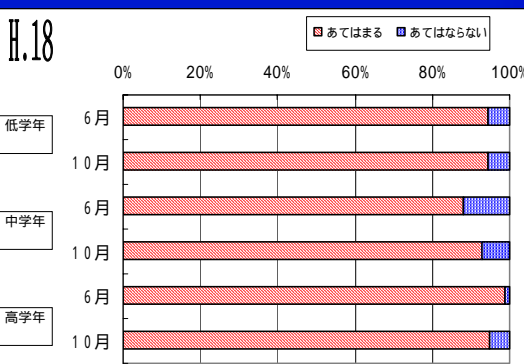
腹が立ったとき、解決するために、
自分の気持ちをことばで伝えることができます。



自分と違う意見も受けいれながら、
自分の考えを話すことができます。



あなたをよくわかってくれる友だちがいます。



成果

児童の話し合いの時間を充分とれるようになった。

児童に伝え合う場ができた。

教師の補助発問や切り返し発問の改善が図られた。

児童は深く広く事象を見つめ、考え、自分の生活と関連づけた発表ができるようになった。

児童どうしがかかわり合おうとする姿がよく見られるようになった。

児童はかかわり合い支え合いなど、認め合おうとする姿が日常よくみられるようになった。